

(社)群馬県トラック協会前橋支部 8月活動報告

総務企画委員会 災害時等の協力体制構築及び相互理解のため陸上自衛隊・第12旅団を訪問



自衛隊各師・旅団にはそれぞれ部隊章(シンボルマーク)がある。壁の文字は龍・騰・鶴・舞。上は武藤副旅団長、左は二宮2佐と伏島1尉。

◆今年1月、前橋支部で開催した新春セミナーの講師を陸上自衛隊・第12旅団(相馬ヶ原)、武藤副旅団長にお願いして以来、群馬県トラック協会前橋支部との間にできたパイプが徐々に太くなってきた。

★基本的には災害発生時は「災害時応援協定」により被災自治体が「医療救援」「物資供給」「緊急輸送」「避難収容」ほかについて協定先である民間事業者に応援依頼をするという流れになり自衛隊から直接依頼が掛かるということはないが、我われの専門部門である「緊急輸送」につき各自自治体と全日本トラック協会各支部との間に交わされている協定をより具体的に発動する為には日頃から互いに必要な車輛・人員等を理解し合っておくことが望ましい。★また輸送業界でのドライバー不足は年々深刻化するなか、自衛隊退役者の採用という可能性も検討したい。いずれにせよ東日本大震災により身近に起き、また今後も身近に発生することが予見される大災害にあたり地元の活躍部隊である相馬ヶ原自衛隊のことを知らないのではもったいない。

◆このような観点から8月9日(木)、支部三役を中心に10名で相馬が原の第12旅団を訪ねた。

◆自衛隊からご対応戴いたのは武藤副旅団長(1佐)、二宮2佐、伏島1尉の3人。二宮2佐は3.11の時は防衛省で任に当たっていたとのことで当時のことを説明された。★群馬県の「国民保護計画」の中で、特にトラック協会の役割について、今後は県の危機管理課とも連携し情報交換を図りたい。ということで互いにフリートークをしながらの約2時間のあと第12旅団・隊員の皆さんと一緒に同じ昼食を頂いた。★これに続き9月4日には同場所で臨時理事会・懇親会を開催予定。

★陸上自衛隊第12旅団のデータ
・1962年(昭和37年)に編成された第12師団を母体とし、2001年3月に旅団へと改組された。陸上自衛隊で唯一、空中機動力を高めた即応近代化旅団である。シンボルマークは背景に12の算用数字が入り中央に赤で日本列島が毛筆によって表現されている。その手前に日本刀を持ったオオワシが表されている。第12旅団は空中機動力を高めた旅団なので鳥が描かれている。第12旅団の担当地域は山岳地帯が多く、ヘリコプターによる空中機動力強化は、山岳地帯での展開、戦闘においてヘリコプター装備は戦車装備より役に立つ。新潟県中越地震では、大勢の被災者の災害救助に、早速その機動力が発揮された。・・・Wikipediaより抜粋

青年部会 第38回「ホリデーインまえばし」開催

◆8月19日(日)、前橋敷島公園内で行われたホリデーインまえばしに今年も県トラック協会青年部会がブースを出展。★午前中はブース内でのアトラクションに約200人の子供たちを迎え、午後は交通安全〇×クイズを実施。沢山の賞品に沢山の笑顔が溢れた。またメインステージでは県内の小学生から寄せられた「働くトラックの絵」の優秀賞表彰式が、またブース内では寄せ書き(9月に実施される宮城県でのボランティア活動に持参する)に沢山のメッセージが書き込まれた。



JC高浦理事長と右は山本市長



トラック協会ブース



「絆」をシンボルにした寄せ書きにメッセージを



なんて書こうかな?



「働くトラックの絵」表彰式の風景



青年部会の皆さん、ご苦労様でした